

# 磐城時報

編輯兼發行人 岡田弘成  
印刷所 加納活版所  
發行所 磐城時報社  
電話 一四四  
廣告料 一月十元 三月三十元 半年六十元 一年一百元  
訂費 一月一元 三月三元 半年五元 一年十元  
代售處 各郵便局

## 磐城高坂坑の大落盤

### 作業中の五名惨死

#### 二名の死体は未発見

内郷村磐城炭礦高坂坑上層六卸の三名は落盤して坑道が埋没され左三片(坑口より七千尺、地下れた僅か奥の洞所に居たので發掘)三百尺、内郷村と好間村の境界堀と同時に這ひ出し擦過傷を負(附近地下)で二十七日午後二時ふたのみで奇蹟的に生命を取り止めた尚ほ  
二十分支柱取替き作業中三十尺長さ六十尺厚さ十尺の天盤が大音響と共に落盤し同個所で作業中であつた  
▲秋田縣鹿角郡尾去澤村工藤一(四二)  
▲神谷村佐藤光夫(二七)同八弟秀男(二二)  
▲滋賀縣甲賀郡佐山村上山泰藏(四二)  
▲東白河郡笹原村深谷具(二〇)  
▲相馬郡日立村太田倉見(二八)  
▲安達郡小濱町渡邊寅吉(一九)  
▲朝鮮人坂本千吉事雀阪大(二八)

## 眠つたよ、起き出でぬ客

### 乞食に同情した神谷の農夫

石城郡神谷村大字中神谷鈴木吉へ貧民と失業者を救済するため松方に二十七日夕刻五十五歳前後の男乞食が来り喘息で困つてゐる。吉松は非常に同情が、配布については各町村長と座敷に布團を敷いて寝させたが二十八日朝になつても起きない。で行つて見ると布團の中で死亡してゐた。平署から佐々木部長出張検査し死体は同村役場に引渡し假埋葬を行つた。

## 縣稅滯納

### 二月競賣

平稅務出張所管内の縣稅滯納は地租附加稅の一萬九千四百二十二圓を最高に五年度前期のみで二萬六千九百七十六圓を算し、後期分を加算する時は實に五萬圓を突破してゐるので二十六日迄に二町六ヶ村に亘り一千余件の財産差押を断行する事となつた。

## 貧民救濟

社會民衆黨磐城支部では二十七日夜半町事務所にて執行委員會を開き協議の結果舊歲末を控

## 水戸屋の風呂場で 保險會社員頓死

### 心臟摩痺と判明

仙臺市日華生命保險株式會社代名をせり、分離すべく目下社理店員武藤 夫(五〇)は去る二會當局に認可申請中で近く決定を待つて二月月上旬委員改選を行し平署に届出で目下保護中だが旅館に投宿してゐたが廿八日午前八時頃朝風呂を浴びてゐるうち心臟摩痺を起し絶命した。平署から阿部部長出張検査した。

## 産馬區長會

石城郡產馬區長會では來月九日總會を開き豫算關係を議決する。

## 委員の選舉

八千余名の組合員を有してゐる石城郡内郷村磐城炭礦健康保險組合委員任期は去る十二日満了となつたが、同炭礦では先堀經營に移した茨城縣下に於ける重内礦の七百余名、石城郡磐崎村小野田炭礦における六百五十

## 少年にも就職難

### 新規採用見合はせで 平職業紹介所手古摺る

平職業紹介所では來る三月小學等主なるもので求人開拓を各地校を巢立つと共に直ちに職業に照會したところデパートではつかねばならぬ児童のため就職口を紹介すべく平町附近各學校と聯絡をとり志望者を取り纏めたとこ合計百四十七名に達しその志望は  
職工廿三名、鐵道十七名、看護婦十五名、商店十名、大工三名、裁縫各九名、洋服、職工、郵便局員各七名

## 千五穴の乞食の群

### 入口には盆裁、二千圓の貯金 時々は酌婦買ひもする

石城郡高久村大字下高久字小鍛冶地内公有林にある千五穴は夏井村との境界にある高山の頂上にある穴で大古人骨を埋めたとか、人間の住居、あつたとか種々の傳説があり歴史的にも意義深い穴であるが千五穴は東南に面し太平洋を眼下に見下ろすやうな眺望絶佳な所でありよく金仙境である。かうした恵まれた所であるため長らく乞食生活者

## 夏井川に 投身自殺

平町字鎌田飲食店佐藤岩次郎方で廿四日午前十一時頃酒五合程を飲んだ上同所夏井川に投身自殺をかけた老人あり、平署員坂本元彦君が流れ行くのを救助し平署に届出で目下保護中だが年齢七十八歳植田附近の者だとけで身元は不明である。

## 相馬支局通信

### 少年消防隊隊式

相馬郡金房村少年消防隊を組織しこれが成隊式は二十七日同村小學校に舉行した。

### 極貧者救濟資金

相馬郡小高町には同町極貧者約四十家族の救濟につき原田禁酒會長二本松土曜學校長等協力し二十六、七日の兩日活動寫眞會を催した尚ほ禁酒會では金十五圓を寄附した。

### 實診所員會

相馬郡原町外四ヶ村共立實診所役員會は二十六日原町役場内に開き第一期の成績報告を兼ね經費問題に就き協議した。

### 信用組合總會

相馬郡内各信用組合總會は二十五日日立木、眞野、大野、原町の各組合中村、金房、石神三十日磯部組合等である。

### 相高女卓球大會

中村町縣立相馬高等女學校ピンポン大會は三十一日午後二時より同校々堂にて舉行の筈。

### 農事實行組合長會

相馬郡大畑村農事實行組合長會議は廿六日同村役場に開催した

## 郡農會總會

石城郡農會では三十日午前九時から總會を開催、本年度豫算一萬一千圓を附議する等。

## 電線を盗む

磐崎村大字上湯長谷生れ當時住所不定無職鈴木正一(三二)は内郷村磐城炭礦専用電線路の連絡線を窃取し賣却した事發覺平署に捕はれた。

原町通信

八澤村の火事

相馬郡八澤村宇南屋形農松本松四郎方から廿六日午後九時五十分頃母屋と馬屋の中間から發火し馬を引出す間もなく遂に焼死し同家を全焼した、原因は穀殻籠の焼灰からだ、同家は役場の隣りとして一時は大混雑を見たが幸ひ風向きの關係で無災であつた

海軍志願兵検査

相馬郡内海軍志願兵検査は原町公會堂に於て廿八、廿九日の兩日執行した。

太田村少年消防隊

相馬郡太田村少年消防隊成隊式は廿七日同村小學校内に舉行した。

眞に生くる途

(五) 吉田 松雄

浮世が厭はしいなどいふて山奥に追けて行つても再び人里戀しくなつて出て來るといふやうな人間も世間には往々ある。矢張り「孤獨」で堪へられず「談話」せざるにあらねなるからである。談話は理解である。人間は理解を求めずには居られないものだ。理解を多數に求めてこれを得ることも愉快には相違ないが廣い世の中、多數の人間の全体にそれを求め得やうとすることは言ふべくして出來ないことだ。そこで人間は各自の範圍を限つてその理解を求め少數の限つた人間同志が握手し談話して而して理解を得て人生を楽しくしてゐるのである。これが即ち友人關係である。故に友人關係とは單に談話するだけのを以つていふのでなく、その相互間に充分な理解といふものが成り立つてゐる

ければならん。單に談話する位の實際關係はそれは友人關係でなくして知人關係に過ぎないのである。然るにこの友人の素質の善悪は非常な影響を自分に與へるものであるから大切なことである。古來より「友人」の選擇に就いて多くの誠めのあるのはこれがためである。知人と友人と違ふのは述べた通りだ。單に談話する位の知人は澤山出來るものであり又澤山あつても差支のない位の程度のものであるが、友人といふものは相互間に充分な理解を條件とするものであるから決して澤山出來るものではない。若し眞の友人が澤山あるならばそれは友人選擇が粗漏に過ぎるか、さもなければ知人程度の人間をも友人と皮相に考へてゐる結果であると思ふ。

歌二題

わが友は都にたゆまぬ働きをかひがひしくも續けつるかなまづしさに深度か友と手をとりて學びよよに泣きし若き(若き學徒の頃)

うすれ日こそぞ窓へに吾が胸はおとおとして落着きもなし。

平町人事

出生 舊城跡正木武司二女キミ子、鍛冶町齋藤正一男正美、櫻町柴田力松二女正子、結婚 栃木縣足利郡三田盛吉(三五)平町村木町三五酒井ハルヨ(二七)紺屋町丸山直人(三三)東京市日本橋區馬喰町小島ふみ(二四)死亡 研町金成チイ(六九)胡摩澤久野清(二)、福宜町山田松之助(七五)

佛國マルソー會社元詰 生葡萄酒 マルソー・フランク・白 1.10 マルソー・ルージュ・赤 良品にして安價賣行飛ぶが如し 西村屋藥局

腸胃 毒核 専門 皮膚病 婦人病 淋病 腸胃病 胃腸病 松村科醫院 (七〇一話電) 町南町平

千代田製靴福引券付大賣出し 五圓均一革靴 (修善自由) 赤短靴、編上靴デモ 耐久保證券付革靴 破損 三ヶ月新品交換 十ヶ月修善無料 ちよだ子供靴(各一足毎)に一枚進呈

吉田眼科病院 看護婦募集 (免許所有者) 平町紺屋町 電話六八番

貸切は セダン揃ヒデ 乗心地ノヨイ 皆様ノ昭和タクシーへ 電話三四三番

レコード破りの石炭大特賣 正味十貫匁一俵金卅錢也 磐城炭礦二二等炭 此炭超破格の格安石炭を販賣開始致します 値が安くとも品は悪くはありません 磐城炭礦の總分的大堀出物です、品物の無くならない中に御注文下さい 配達は一俵より致します 御注文は 電話三三七番へ 阿部石炭商店

診察無料 本院デワ特ニ今般 眼鏡科ノ改良ナイタシ 檢眼無料デ確實ニ檢定シ 博士敬白 大谷時計病院 電話十九番

外務員募集 經驗の有無を問はず 奮闘家を望む (年齢二十五歳以上) 詳細面談 平町字鍛冶町十八番地 千代田生命保險相石城代理店內 木村丈三郎